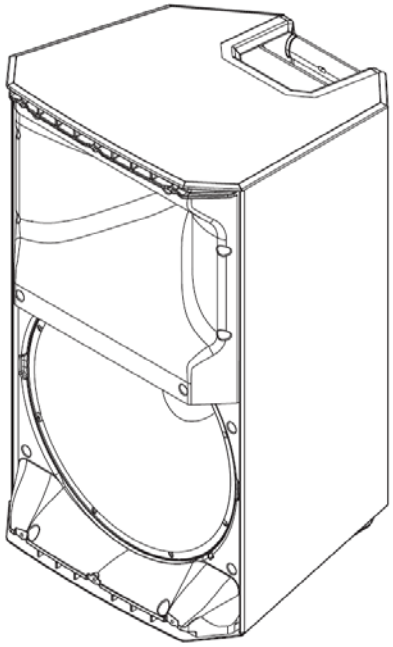
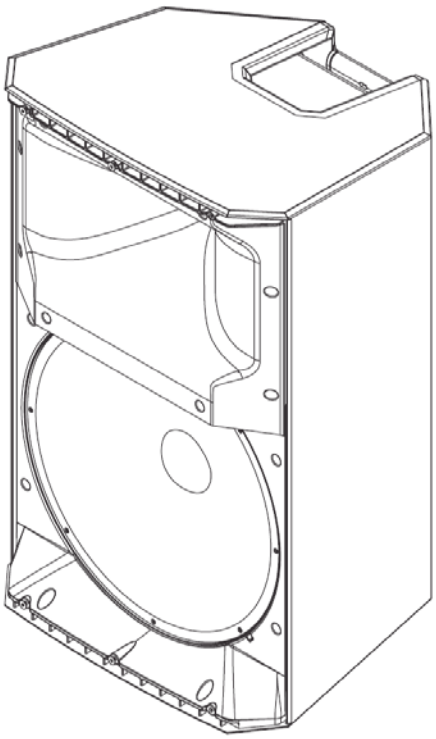
ZLX

ZLX シリーズ・スピーカー・システム取扱説明書





ZLX-12P
ZLX-15P
ZLX-12
ZLX-15

Live For Sound
www.electrovoice.com

ZLX

安全にお使いいただくために

正三角形に電光と矢印がある記号は、製品のケース内に絶縁されていない「高圧電流」が流れ、感電の危険があることを警告するものです。

正三角形に感嘆符のある記号は、本装置の取扱説明書に記載されている操作と保守（整備）の重要な指示への注意を喚起するものです。

正三角形にアスタリスクのある記号は、本スピーカー・システムに関連する装置とハードウェアの必要な設置と取り外しの指示を知らせるものです。

1. 安全に正しくお使いただくために、取扱説明書をお読みください。
2. 取扱説明書はいつでも見られる所に保管してください。
3. 警告の内容すべてに注意してください。
4. 取扱説明書に従って操作してください。
5. 本装置を水の近くで使用しないでください。
6. 汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
7. 換気口をふさがないでください。取扱説明書に従って設置してください。
8. ラジエーター、通気調節装置、ストーブなどの熱源、またその他の熱を発生させる装置 (アンプを含む) の近くに本装置を設置しないでください。
9. 有極プラグやアース・プラグの安全な目的を無効にしないでください。有極プラグには幅の違う 2 枚のブレードがあります。アース・プラグには 2 枚のブレードと、1 つのアース棒端子があります。広いブレードまたは 3 本目の棒端子は安全のためのものです。付属ケーブルのプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事店に依頼し古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードや電源プラグに無理な力が加わらないように保護してください。
11. メーカー指定の取り付け具/付属品以外は使用しないでください。
12. 雷が鳴り始めた時や、長期間使用しない時などは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
13. 保守整備は資格を持っている担当者に相談してください。電源コードやプラグの損傷、装置が損傷した、水や異物が入った、装置に雨水がかかった、正常に動作しない、あるいは落とした場合には修理を依頼してください。
14. 本装置に液体が落ちたり、飛散したりしないように注意し、液体の入った物を装置の上に置かないでください。
15. 本装置を AC 電源から完全に切断するには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
16. 電源コードの AC プラグはすぐに動作可能な状態になっています。

予防策

ZLX スピーカー・システムを快晴の屋外で使用する場合は、スピーカーを日陰または屋根のある場所に設置してください。アンプには保護回路が組み込まれているので、極めて高い温度に上がるとスピーカーは一時的にオフになります。これは暑い日、スピーカーに直射日光が当たった場合に起こります。

ZLX スピーカー・システムは+ 40℃ (104°F) を超える環境で使用しないでください。

ZLX スピーカー・システムを雨水、高湿度にさらさないでください。

エレクトロボイスの ZLX スピーカー・システムは、カバーエリアの範囲内にいる人が永続的な難聴になるほどの音圧レベルを簡単に再生できます。長時間 90 dB を超える音圧レベルにさらされないように注意してください。

目次

安全にお使いいただくために 2

予防策 3

製品の紹介 4

クイック・セットアップ 4

システムの特長 5

三脚とフロア・モニターとしての設置 6

アンプのコントロール 8

LCD DSP コントロール・メニュー 9

推奨する構成 11

仕様 14

寸法 16

周波数特性グラフ 19

ZLX モデル・リファレンス表 20

保証 20

トラブルシューティング 21

ZLX

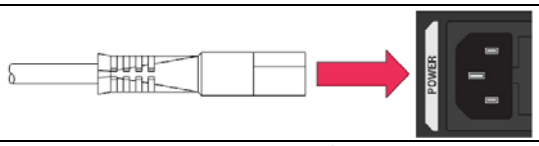
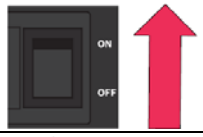
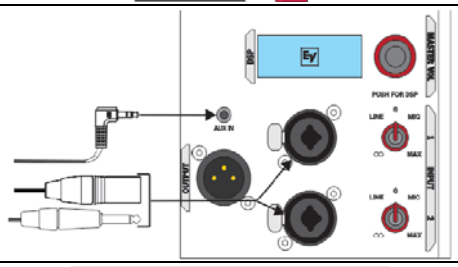
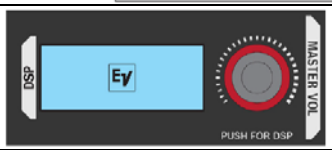
製品の紹介

このたびはエレクトロボイス ZLX パワード・スピーカー・シリーズをお買い上げ頂き有難うございます。本書をお読みになり、エレクトロボイス・スピーカー・システムに組み込まれた機能を理解し、その性能をご活用ください。ZLX シリーズは、このクラスで求められる機能を完備し、画期的な機能も備え、他社より優れた製品になっています。すべての機能が連携し、どんな演奏であろうとこれまでより、速く簡単にサウンドをコントロールできます。スピーカーを選ぶとき、まずは「箱の中身は何?」と聞いてみるとよいでしょう。その後、実際に音を聞けば、EV サウンドの違いを実感できるでしょう。この 2 つのモデルは、特注ドライバーが革新的な新しいキャビネット設計に収容され、コンパクトで多目的に使用でき、EV 社の定評のある音質と耐久性がこれまでよりさらにお求めやすくなりました。

クイック・セットアップ

エレクトロボイス ZLX パワード・スピーカー・システムは、入念にバランスを考えた電子機器とトランスデューサーが完全に統合されたオーディオ・システムです。この製品シリーズは高品質のサウンド・システムを最低限のケーブルと外部電子機器ですばやく簡単にセットアップできます。

ZLX スピーカー・システムをできるだけ迅速に動作させるため、次の手順を行ってください。

ステップ	説明図
1. AC 電源コードをアース付きコンセントと本機器の電源差込口に差し込みます。	
2. 電源スイッチを押して ON にします。	
3. 音源に接続した 3.5m ミニ・ジャック、XLR または TRS ケーブルを AUX IN、INPUT 1 または INPUT2 に接続します。	
4. DSP ノブを長押しし、アプリケーション MODE と LOCATION を選択します。	
5. DSP ホーム画面から、VU メーターを見ながら入力ゲインつまみのレベルを上げます。	
6. MASTER VOL をゆっくり回して、希望のボリュームに調整します。	

システムの特長

ZLX-12P & **ZLX**-15P パワード・スピーカー・システム

EV 社設計のドライバーと特注製造されたクラス D アンプ・モジュール、パワフルな DSP を調和させたこのクラス唯一のスピーカー・システムです。ポール・マウントで設置、またはフロア・モニターとして使用する場合でも、ZLX は迫力があり明瞭なサウンド、プロ達が信頼している伝説的な「EV サウンド」をお届けします。

- ZLX-12P: 50 Hz - 20 kHz、最大 SPL は 126 dB、1000 W アンプ (クラス D)
- ZLX-15P: 42 Hz - 20 kHz、最大 SPL は 127 dB、1000 W アンプ (クラス D)
- コンパクトな筐体に収納された迫力ある低音用の 12 インチまたは 15 インチ・ウーファーと、1.5 インチ高周波チタン製コンプレッションドライバ
- LCD ディスプレイと 1 つのつまみで調整できる DSP コントロール (プリセットを使用し正確かつ迅速なセットアップが可能)
- 入力レベル・メーターと、最適なゲイン構造を保証するための独立したアンプ・コントロール
- 「電源オン」と「リミット」表示のためのフロント LED
- ドライバーの時間的整合に優れ、特許を取得しているスプリット・バッフル設計
- 耐久性のある複合構造で、ポール・マウントが簡単な画期的な上下のグリップ設計
- LCD ディスプレイを見ながら最適な EQ の適用と位置決めが可能
- 画期的なデザイン性で、プロ向けのサウンドにマッチしたプロ向けの外観
- 上下グリップを含む 3 つのハンドルを利用でき、市販されている中で最もポータブルなプロ向けサウンド・スピーカー・システム
- 複合構造は頑丈で長持ちし、ロードテストでその耐久性を証明
- クラス最高のサウンド、デザイン、さらに EV 社のコンサートツアー・クラスの製品から着想した LCD 制御の DSP を使用したコントロール

ZLX-12－12 インチ・パッシブ・スピーカー・システム

コンパクトで多目的に使えるスピーカー・システムで、頑丈な筐体に EV 社設計のドライバーが収納されています。ポール・マウントで設置、またはフロア・モニターとして使用する場合でも、ZLX は迫力があり明瞭なサウンド、プロ達が信頼している伝説的な「EV サウンド」をお届けします。

- コンパクトな筐体に収納された迫力ある低音用の 12 インチ・ウーファーと、1.5 インチ高周波チタン製コンプレッションドライバ
- 耐久性のある複合構造で、ポール・マウントが簡単な画期的な上下のグリップ設計
- スプリット・バッフル設計で、ドライバーの時間アラインメントが優れている。
- 周波数レンジ: 55 Hz - 20 kHz
- 250 W (連続)、1000 W (ピーク・パワー時)
- SPL 感度: 95 dB、最大 SPL: 125 dB

ZLX-15－15 インチ・パッシブ・スピーカー・システム

コンパクトで多目的に使えるスピーカー・システムで、頑丈な筐体に EV 社設計のドライバーが収納されています。ポール・マウントで設置、またはフロア・モニターとして使用する場合でも、ZLX は迫力があり明瞭なサウンド、プロ達が信頼している伝説的な「EV サウンド」をお届けします。

- コンパクトな筐体に収納された迫力ある低音用の 15 インチ・ウーファーと、1.5 インチ高周波チタン製コンプレッションドライバ
- 耐久性のある複合構造で、ポール・マウントが簡単な画期的な上下のグリップ設計
- スプリット・バッフル設計で、ドライバーの時間アラインメントが優れている。
- 周波数レンジ: 44 Hz - 20 kHz
- 250 W (連続)、1000 W (ピーク・パワー時)
- SPL 感度: 95 dB、最大 SPL: 125 dB

ZLX

三脚とフロア・モニターとしての設置

フロア・モニター

エレクトロボイス ZLX スピーカー・システムは、フロア・モニターとして使用できます。次の点を確認し、配置してください。

- スピーカー・システムを平らで安定し、頑丈でしっかりした面に置きます。
- 出演者、製作スタッフ、観客らがケーブルにつまずかないように配線します。

図 1a:
ZLX の最適なカバレッジ
(正面図)

図 1b:
ZLX の最適なカバレッジ
(側面図)

三脚とフロア・モニターとしての設置

三脚

エレクトロボイス ZLX スピーカー・システムには 35 mm (1-3/8 インチ) スタンド・マウント・ホールが付属し、三脚スタンドの上または、ELX 118P の上に設置可能です。次のことを確認し、安全に設置してください。

- 汎用スピーカー･スタンドを使用する場合、仕様を参照してスピーカー･スタンドの最大荷重を確認してください。
- スピーカー・スタンドを平らで安定した面に置き、スタンドの脚が完全に伸びているか確認してください。その構造上の完全性を損なわないようにしてください。
- 出演者、製作スタッフ、観客らがスタンドやケーブルにつまずいたり、スピーカー・システムをひっくり返したりしないようにケーブルを配線し、スタンドを配置してください。可能ならばケーブルをワイヤ・タイまたはテープで固定してください。
- 1 台のスピーカー･スタンドに複数のスピーカー・システムを取り付けないでください。
- スピーカー・システムが重くて安全にスタンドに持ち上げることができないと思われる場合は、誰かに手伝ってもらってスタンドに載せてください。

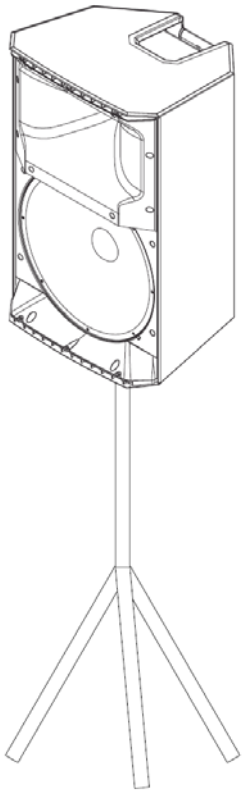


図 2a:
三脚スタンドに取り付けた ZLX

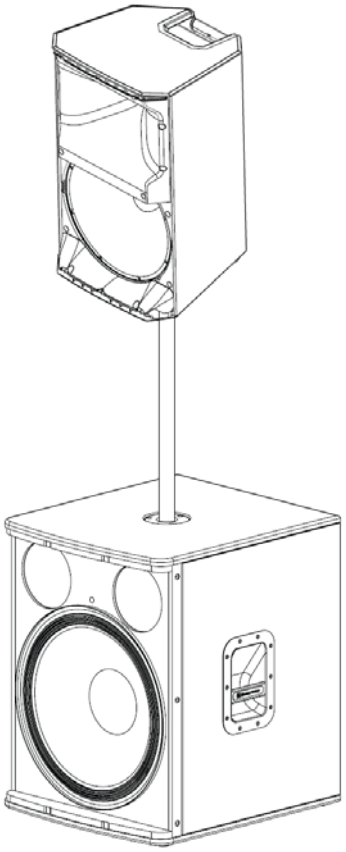


図 2b:
ポール・マウントを使った
ZLX フルレンジ / サブウーファー・スタック

ZLX

アンプのコントロール

ZLX アンプには幾つかのコントロールとコネクターが装備され、非常に多目的に使えるスピーカー・システムを構成できます。各コンポーネントについては次ページで説明します。

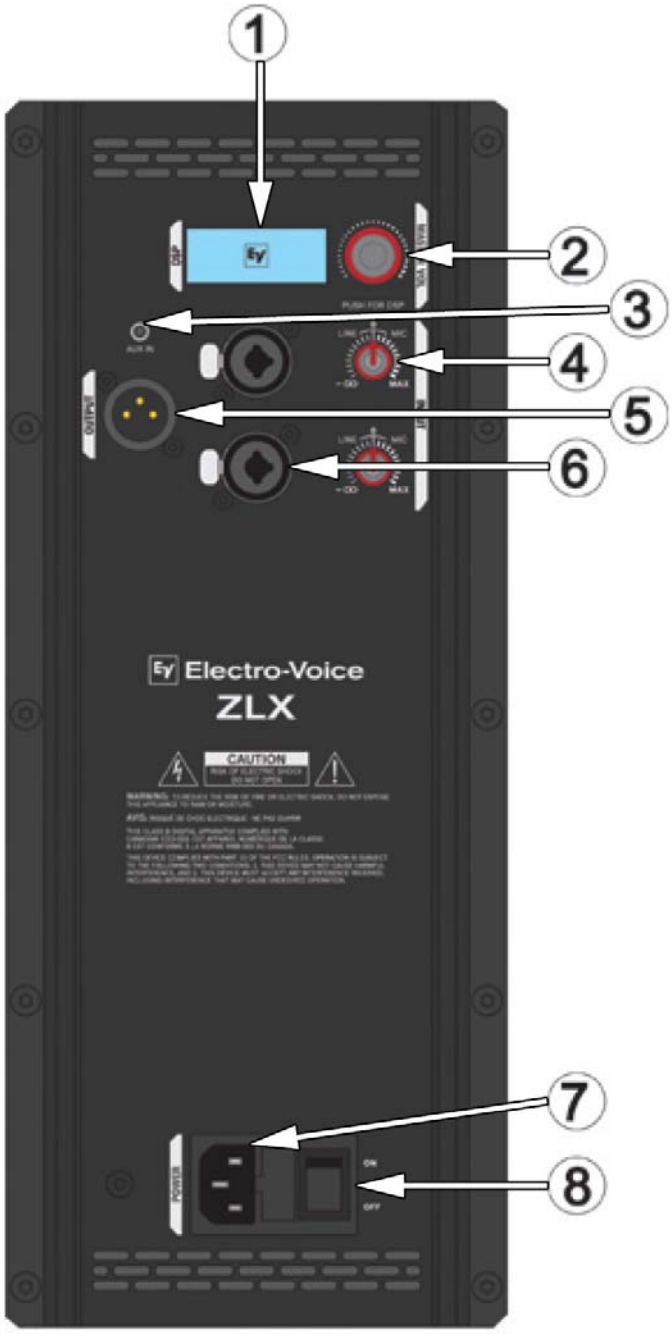


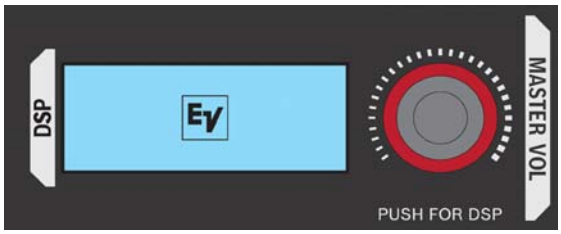
***図 3**:*
ZLX-12P / ZLX-15P アンプ・パネル

1. **LCD - DSP コントロール&モニターリング・インターフェース**
2. **MASTER VOL** - ダイアルを右に回すとサウンド・レベルは上り、左に回すと下がります。

   DSP - DSP 設定に入るには MASTER VOL つまみを長押しします。この後、MASTER VOL つまみを回してメニュー項目をスクロールします。メニュー項目を選択するには、MASTER VOL つまみをもう一度選択します。
3. **AUX IN** - MP3 プレーヤーなど外部オーディオ・メディア機器接続用の 3.5 mm オーディオ・ジャック入力。
4. **入力レベル** - 個々の入力の感度調整用レベル・コントロール。LINE と MIC 入力レベル・コントロールは INPUT 1 と INPUT 2 の両方に利用できます。
5. **LINK OUTPUT** - XLR 出力コネクターはすべての入力の信号を一括して別のパワード・スピーカーまたはサブウーファーへ送信します。
6. **XLR/TRS INPUT** - ミキシング・コンソールや楽器、マイクなど信号ソース接続用のバランス型入力。接続は 1/4 インチ TRS または XLR コネクターを使って行います。
7. **MAINS IN** - AC 接続は IEC コネクターで行います。ZLX アンプは 100V - 240V (±10%) で動作します。
8. **POWER** - 電源の ON、OFF を切り替える AC スイッチ。電源をオンにすると、LCD 画面が点灯します。

LCD DSP コントロール・メニュー

内蔵 LCD DSP コントロール・メニューではスピーカー・システムの複数の DSP システム設定を選択することができます。



ZLX-12P / **ZLX**-15P

LCD DSP コントロール・メニュー		
	EXIT	
DSP	MODE	MUSIC (初期設定)
		LIVE
		SPEECH
		CLUB
	LOCATION	POLE (初期設定)
		MONITOR
		BRACKET
	TREBLE	0 dB (初期設定)
		-10 dB ~ +10 dB
	BASS	0 dB (初期設定)
		-10 dB ~ +10 dB
	SUB	OFF (初期設定)
		80Hz
		100Hz
		120Hz
		ELX118P
システム	LED	ON (初期設定)
		OFF
		LIMIT
	LCD DIM	ON (初期設定)
		OFF
	CONTRAST	0 (初期設定)
		-10 to +10
	RESET	RESET ARE YOU SURE?
		NO (初期設定)
		YES
	INFO	PRODUCT NAME FIRMWARE VERSION ©2012 ELECTRO-VOICE
	EXIT	

LCD DSP コントロール・メニューに進むには、次の手順を行ってください。

1. **MASTER VOL つまみ**を長押しし、LCD DSP コントロール・メニューに入ります。
   LCD DSP コントロール・メニューが表示されます。
2. **MASTER VOL つまみ**を回してメニュー項目をスクロールします。
3. **MASTER VOL つまみ**を押して、変更したいメニュー項目を選択します。
   フォーカスは LCD 画面右側のメニュー項目に移動します。
4. **MASTER VOL つまみ**を回してメニュー項目をスクロールします。
5. **MASTER VOL つまみ**を押して、選択したメニュー項目を確定します。
   設定は保存され、フォーカスは LCD 画面左側のメニュー項目に戻ります。
6. 上記**ステップ 2 – 5** を繰り返し、他の DSP とシステムの設定を変更します。
7. 最後に [**EXIT**] を選択し、ホーム画面に戻ります。

メニ

ZLX

LCD DSP コントロール・メニュー

EXIT
EXIT メニューはホーム画面に戻るときに使います。

MODE
MODE メニューは、スピーカー・システムから流すサウンドのタイプを設定するときに使います。MUSIC、LIVE、SPEECH または CLUB を選択でき、初期設定は MUSIC です。

- **MUSIC** - 録音した楽曲を再生するとき
- **LIVE** - ボーカルや楽器のアプリケーションに使用
- **SPEECH** - 話し言葉のアプリケーションに使用
- **CLUB** - 録音した電子音楽を再生するとき

LOCATION
LOCATION メニューは、スピーカー・システムを空間と境界の変化に合わせて最適化するときに使います。POLE、MONITOR または BRACKET を選択でき、初期設定は POLE です。

TREBLE
TREBLE メニューは、サウンドの高域周波数を設定するときに使います。範囲は-10 dB から+10 dB で、初期低音レベルは 0 です。

BASS
BASS メニューはサウンドの低域周波数を設定するときに使います。範囲は-10 dB から+10 dB で、初期低音レベルは 0 です。
注: CLUB モードで低域のレベルを上げると、スピーカー・システム全体の最大レベル機能が徐々に下がります。

SUB
SUB メニューは、サブウーファーの使用とそのクロスオーバー周波数を設定するときに使います。システムでサブウーファーを使用しない場合は、OFF 位置を選択します。サブウーファーを使用する場合は、適切なクロスオーバー周波数 (80Hz, 100Hz, 120Hz または ELX118P) を選択します。初期設定は OFF です。

LED
前面の **LED** はスピーカー・システムの状態を示すときに使います。OFF、ON または LIMIT を選択できます。LIMIT を選択した場合、保護ステータスがアクティブならばスピーカー・システム前面から目視で確認することができます。システムが LIMIT 保護モードの場合は、LED はオフになります。初期設定は ON です。

LCD DIM
LCD DIM メニューは、30 秒間何も操作しないと LCD 画面が消灯されるように設定するときに使います。ON または OFF を選択でき、初期設定は ON です。

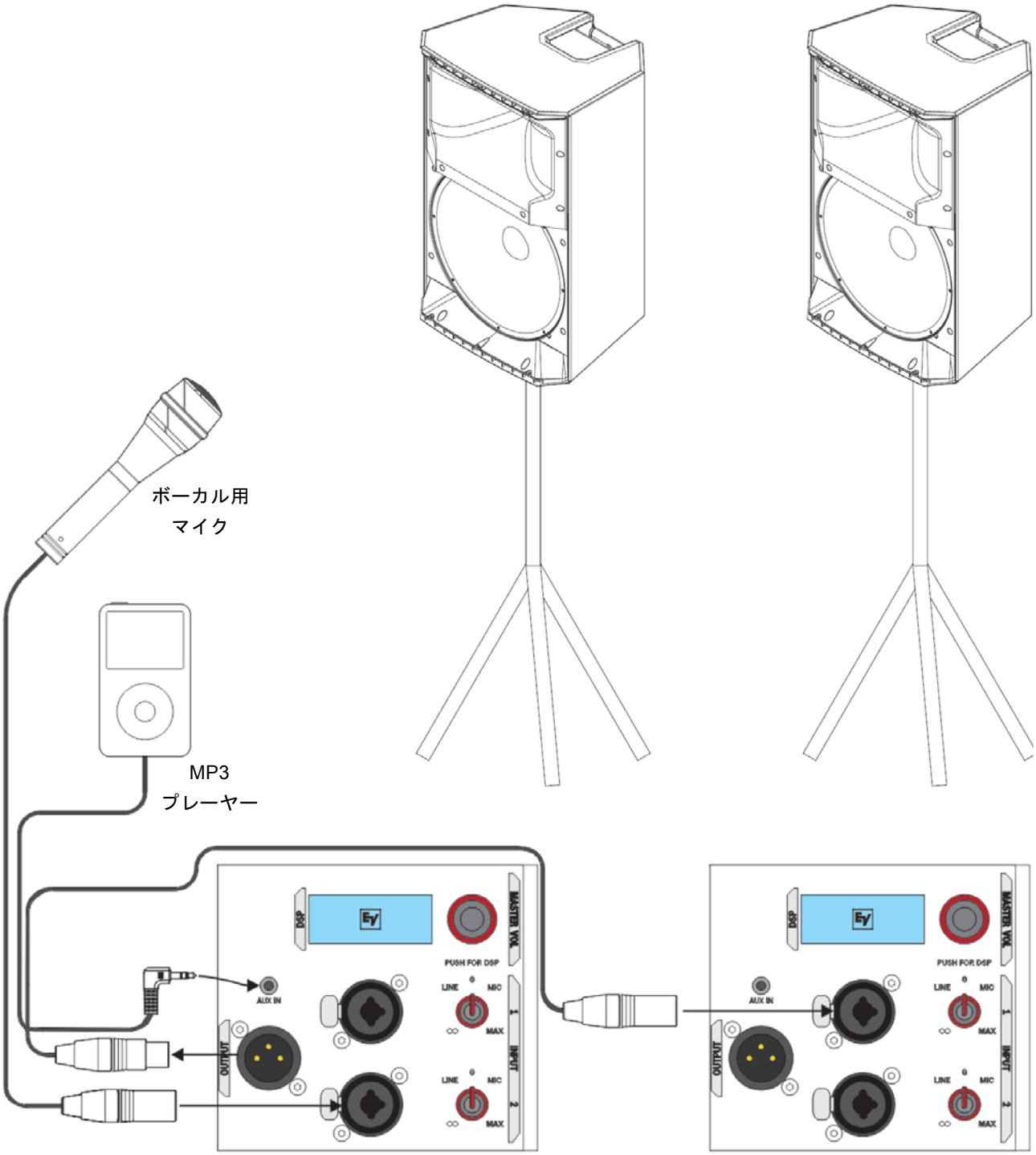
CONTRAST
CONTRAST メニューは LCD 画面の可視性を増減するときに使います。コントラスト範囲は-10 から+10 で、初期コントラスト・レベルは 0 です。

RESET
RESET メニューはスピーカー・システムを出荷時の設定に戻すときに使います。初期設定は NO です。

INFO
INFO メニューにはシステム・モデル名とファームウエアのバージョン番号が表示されます。

推奨する構成

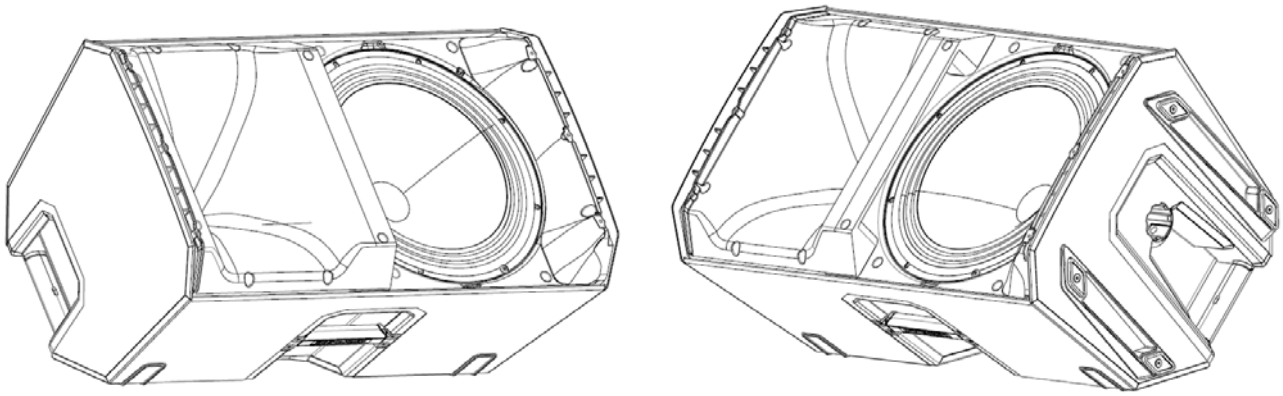
デイジーチェーン接続したフルレンジ・システム (下記はパワード・バージョン)

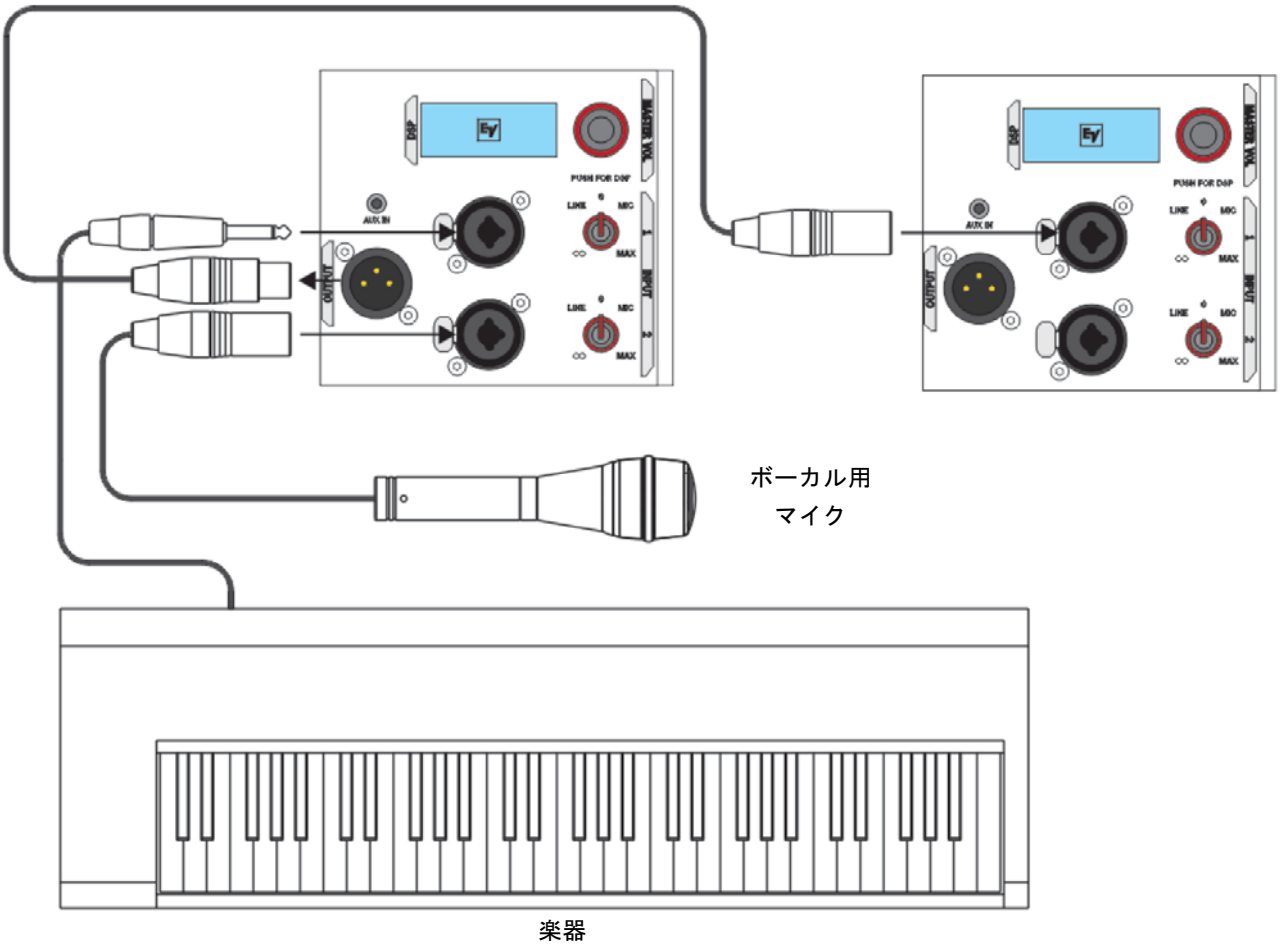


注: 矢印の向きは信号経路を示しています。

推奨する構成

フルレンジ・システムをモニターとして使用 (下記はパワード・バージョン)

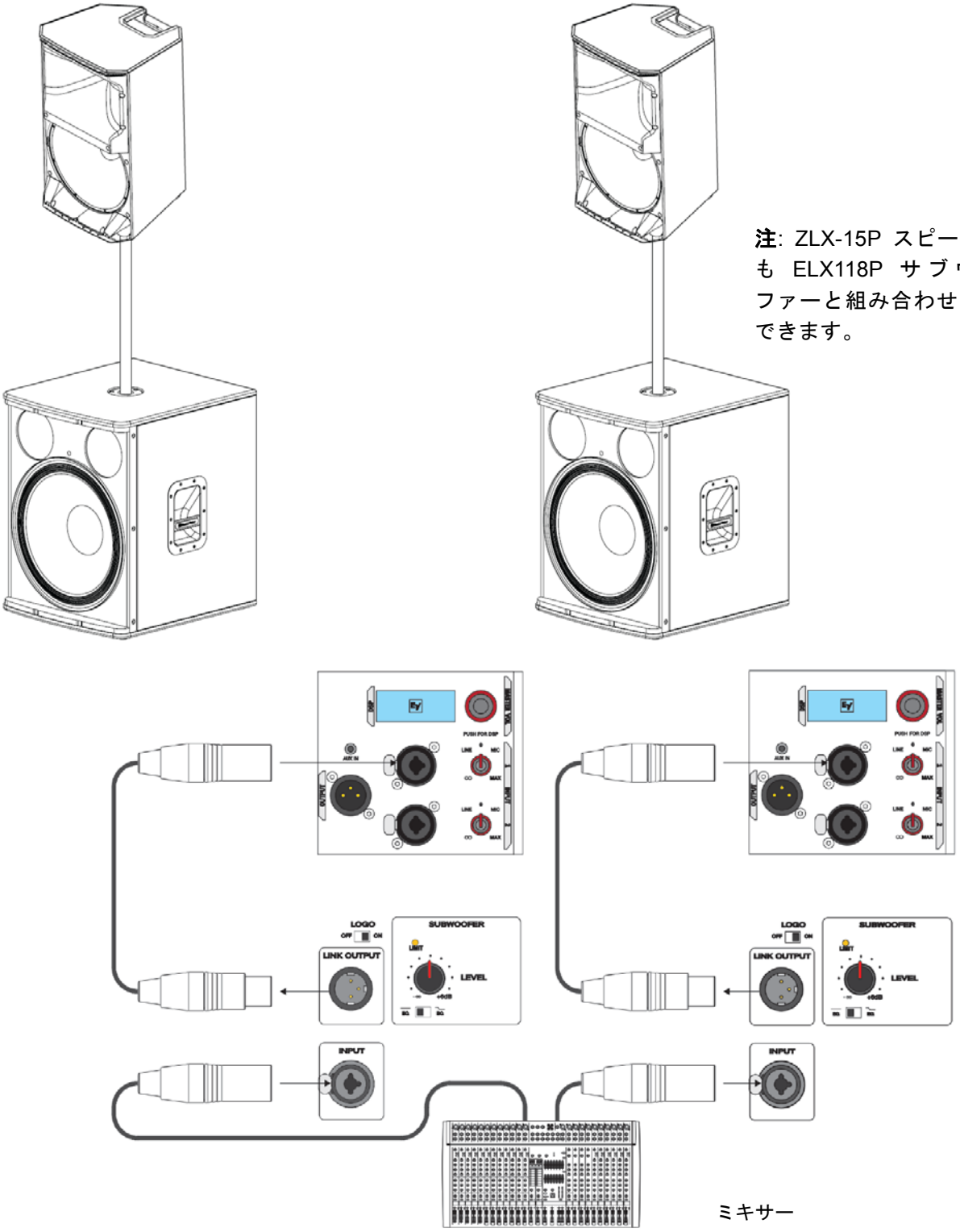




注: 矢印の向きは信号経路を示しています。

推奨する構成

フルレンジ・システムとサブウーファーのスタッキング構成 (ステレオ ZLX-12P と ELX118P x 2 台)



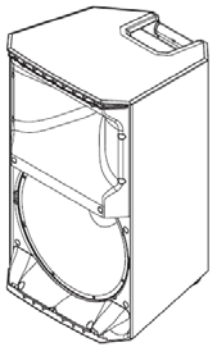
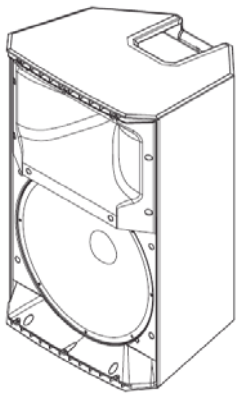
注: ZLX-15P スピーカーも ELX118P サブウーファーと組み合わせ利用できます。

ミキサー

注: 矢印の向きは信号経路を示しています。

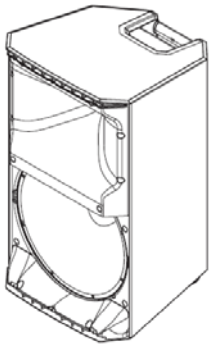
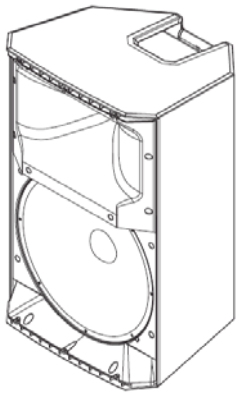
ZLX

仕様 — ZLX パワード

モデル (品番)	**ZLX**-12P (ZLX-12P)	**ZLX**-15P (ZLX-15P)
		
周波数特性[1]:	65 Hz ~ 18 kHz	55 Hz ~ 18 kHz
周波数レンジ (-10dB)[1]:	50 Hz ~ 20 kHz	42 Hz ~ 20 kHz
最大測定 SPL:	126 dB	127 dB
指向性 (水平 x 垂直):	90° x 60°	
アンプ出力:	1000 W	
LF トランスデューサー:	EVS-12K、300 mm (12 in) ウーファー	EVS-15L、380 mm (15 in) ウーファー
HF トランスデューサー:	DH-1K	
コネクター:	(2) XLR/TRS コンボ・ジャック、(1) 3.5 mm 入力、(1) XLR リンク出力	
筐体の素材:	ポリプロピレン	
グリル:	18GAスチール、黒パウダーコート塗装	
寸法 (H x W x D):	610 mm x 356 mm x 356 mm (24 in x 14 in x 14 in)	685 mm x 423 mm x 383 mm (27 in x 17 in x 15 in)
正味重量:	15.6 kg (34.3 lbs)	17.3 kg (38.0 lbs)
輸送重量:	19.0 kg (41.8 lbs)	23.0 kg (50.7 lbs)
適合アクセサリ	ZLX-BRK、ZLX-12-CVR	ZLX-BRK、ZLX-15-CVR

[1] MUSIC DSP プリセットを使用

仕様 — ZLX パッシブ

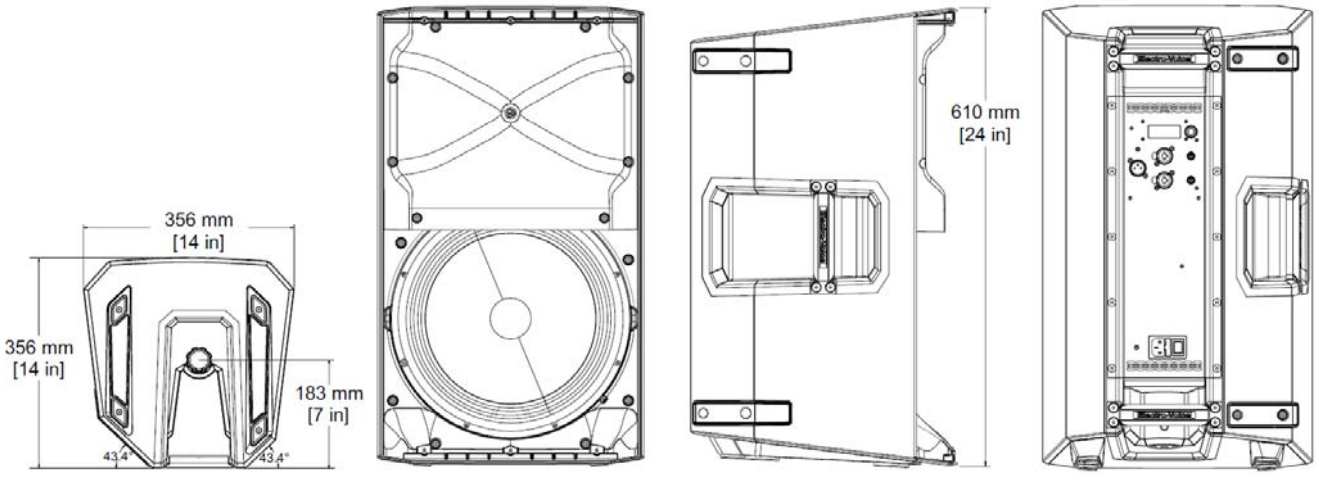
モデル (品番)	**ZLX**-12 (ZLX-12)	**ZLX**-15 (ZLX-15)
		
周波数特性 [2]:	82 Hz ~ 18 kHz	56 Hz ~ 18 kHz
周波数レンジ:	55 Hz ~ 20 kHz	44 Hz ~ 20 kHz
軸感度:	95 dB	96 dB
最大測定 SPL:	125 dB	126 dB
推奨 HP 周波数	40 Hz	
指向性 (水平 x 垂直):	90° x 60°	
許容入力::	250 W (連続)、1000 W (ピーク)	
LF トランスデューサー:	EVS-12K、300 mm (12 in) ウーファー	EVS-15L、380 mm (15 in) ウーファー
HF トランスデューサー:	DH-1K	
クロスオーバー周波数	2.1 kHz	1.7 kHz
公称インピーダンス	8 Ω	
最小インピーダンス	7 Ω	
コネクター:	デュアルNL4	
筐体の素材:	ポリプロピレン	
グリル:	18GAスチール、黒パウダーコート塗装	
寸法 (H x W x D):	610 mm x 356 mm x 356 mm (24 in x 14 in x 14 in)	685 mm x 423 mm x 383 mm (27 in x 17 in x 15 in)
正味重量:	14.9 kg (32.8 lb)	16.6 kg (36.5 lb)
輸送重量:	18.0 kg (39.6 lb)	22.0 kg (48.3 lb)
適合アクセサリ	ZLX-BRK、ZLX-12-CVR	ZLX-BRK、ZLX-15-CVR

[2] フルスペースによる測定 フロア設置または壁取り付けの場合、低域の出力は増強されます。

ZLX

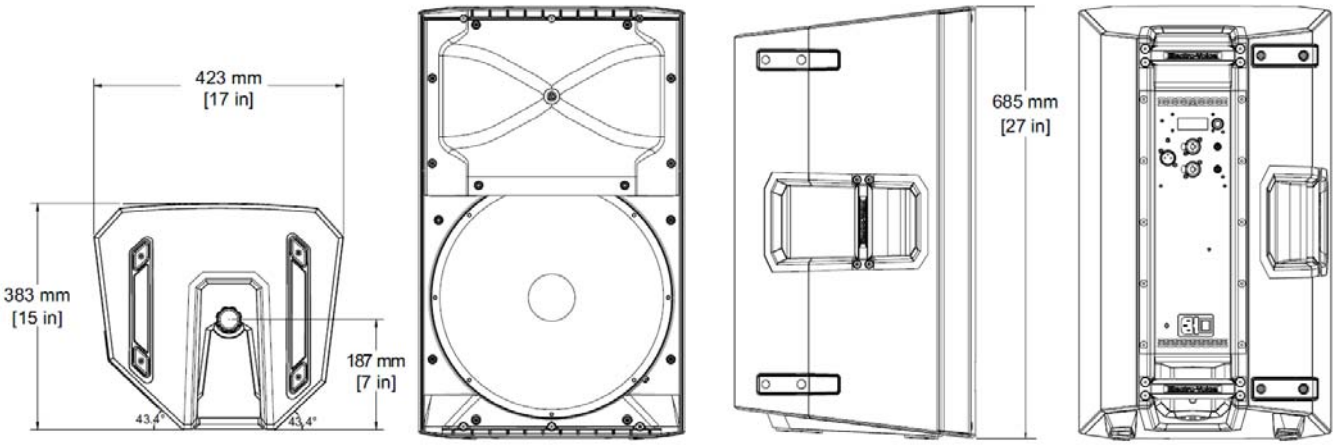
寸法 ― ZLX パワード

ZLX-12P



底面図　正面図　右側面図　背面図

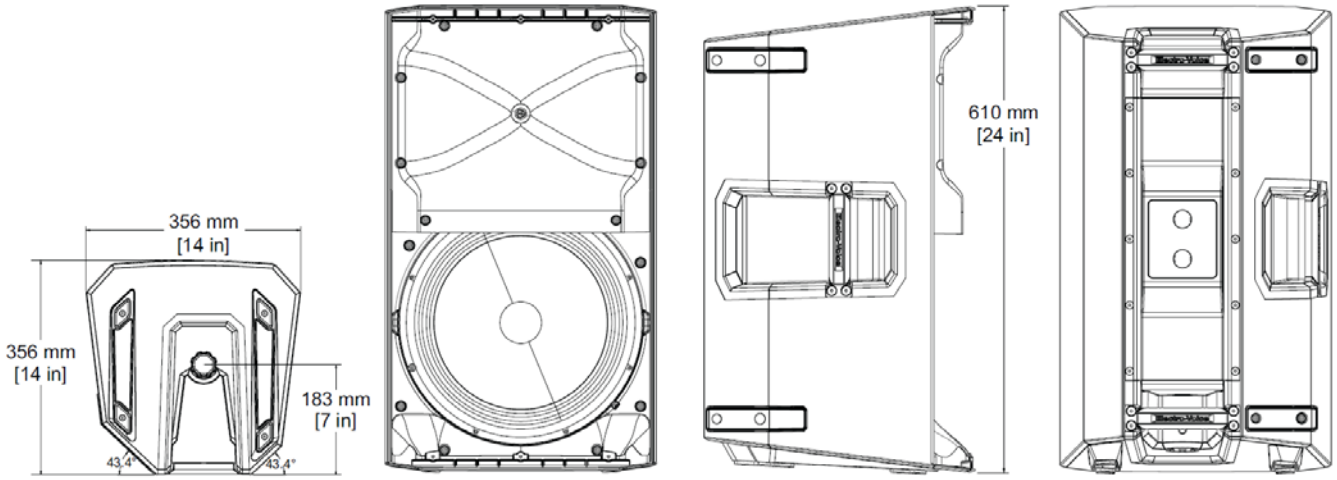
ZLX-15P



底面図　正面図　右側面図　背面図

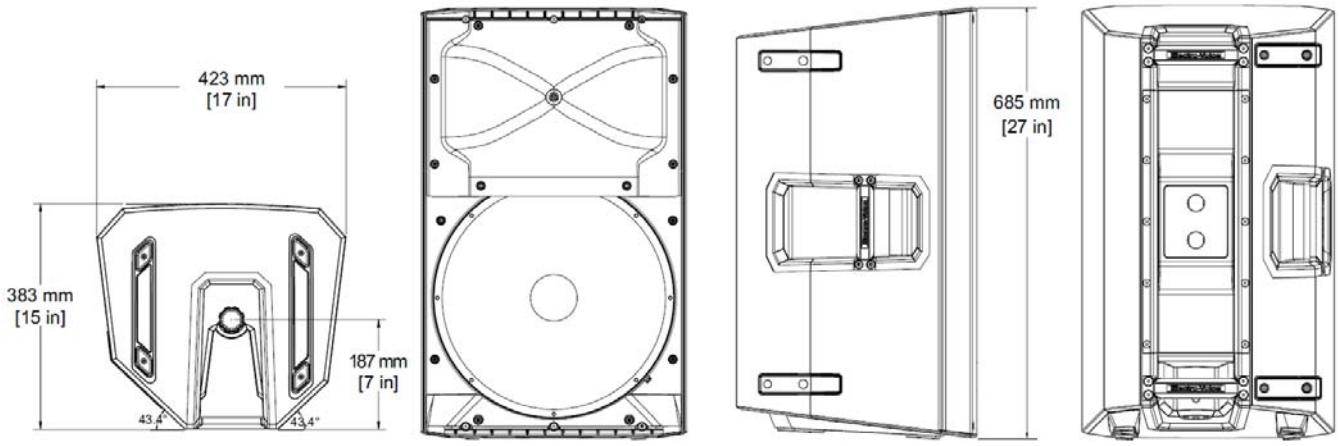
寸法 — ZLX パッシブ

ZLX-12



底面図　正面図　右側面図　背面図

ZLX-15

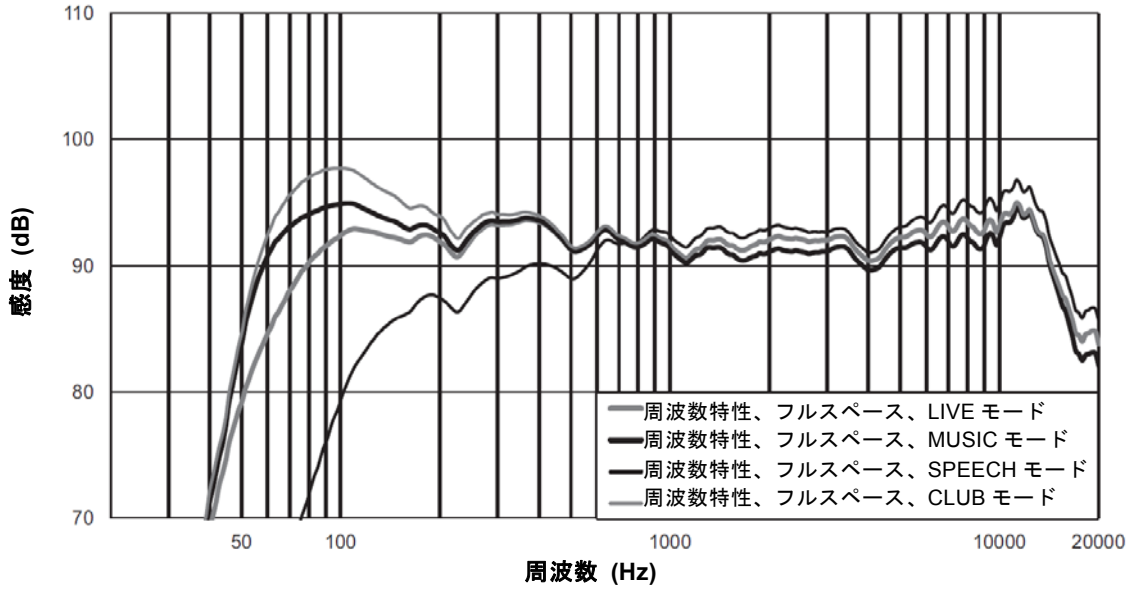


底面図　正面図　右側面図　背面図

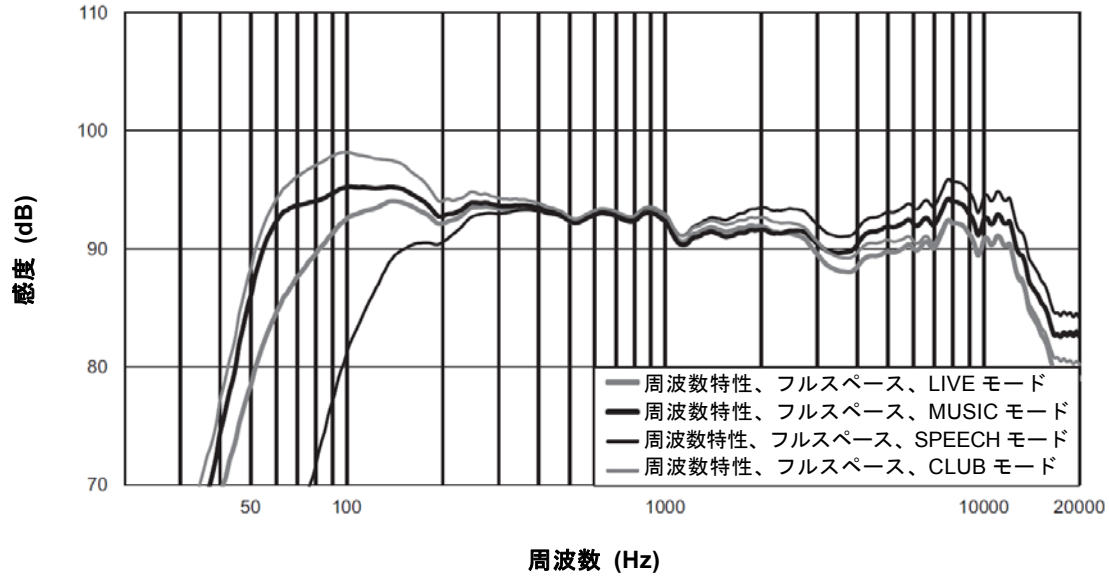
ZLX

周波数特性グラフ ― ZLX パワード

ZLX-12P

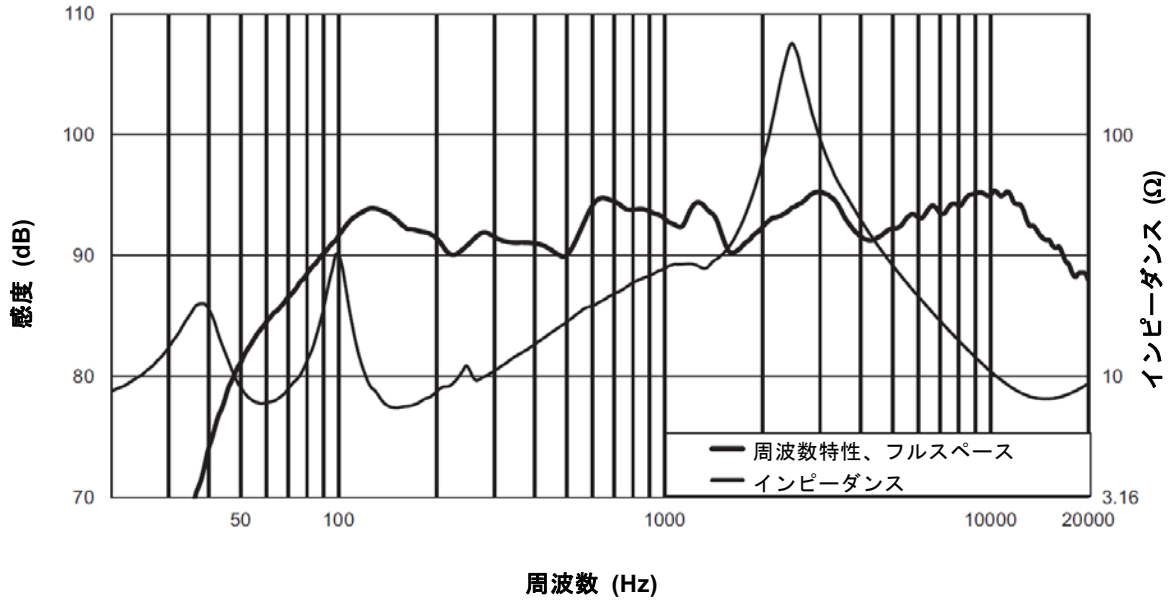


ZLX-15P

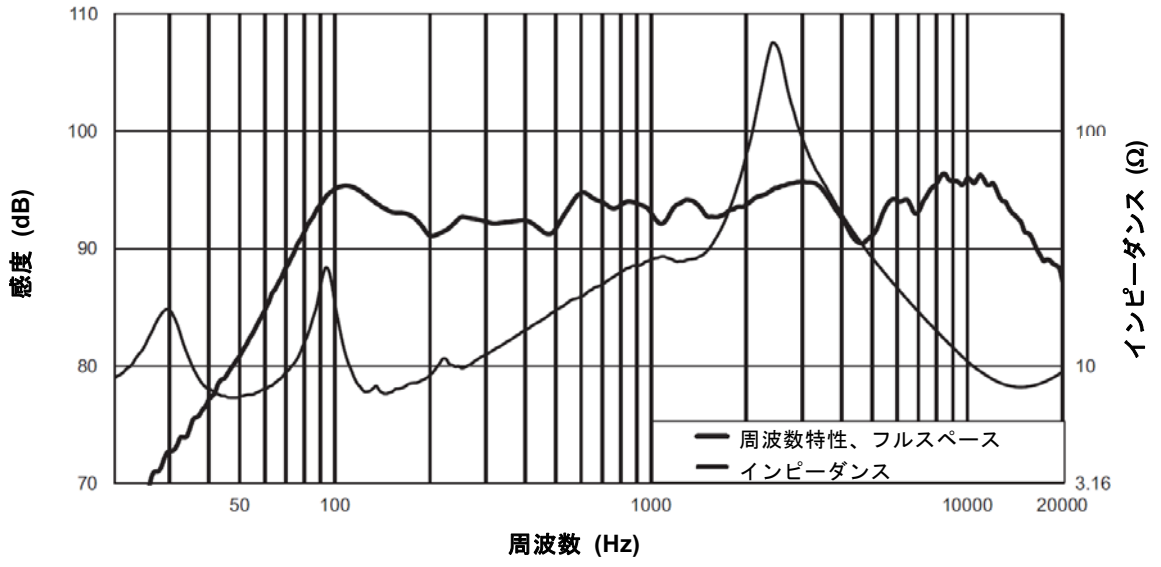


周波数特性グラフ — ZLX パッシブ

ZLX-12



ZLX-15



ZLX

ZLX モデル・リファレンス表

製品コード	製品名	仕上げ
ZLX-12P-US	12インチ2ウェイ・パワードスピーカー・システム	ブラック
ZLX-12P-EU	12インチ2ウェイ・パワードスピーカー・システム	ブラック
ZLX-15P-US	15インチ2ウェイ・パワードスピーカー・システム	ブラック
ZLX-15P-EU	15インチ2ウェイ・パワードスピーカー・システム	ブラック
ZLX-12	12インチ2ウェイ・パッシブスピーカー・システム	ブラック
ZLX-15	15インチ2ウェイ・パッシブスピーカー・システム	ブラック
ZLX-BRKT	ZLX壁取り付け用ブラケット	ブラック
ZLX-12-CVR	ZLX-12/P -EVロゴ用ZLXパッド入りカバー	ブラック
ZLX-15-CVR	ZLX-15/P -EVロゴ用ZLXパッド入りカバー	ブラック

保証

保証については弊社ホームページ(www. boschsecurity-jp.net/Pro_Audio/)をご覧ください。

トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対応策
1. 音がでない。	アンプの問題	正しく鳴ることが分かっているテスト・スピーカーをアンプ出力に接続します。音が聞こえない場合は、電子機器がすべてオンになっていること、信号ルーティングが正しいこと、音源がアクティブであること、ボリュームを上げていることなどをチェックし、必要ならば修正/修理/交換してください。音が聞こえる場合は、配線に問題があります。
	配線の問題	アンプに正しいワイヤ・ペアを接続してあるか確認します。低いレベルでアンプを通して何か音楽を流します (MP3 プレーヤーなどから)。テスト用プレーヤーを故障しているラインと並列接続します。サウンド・レベルが消えているまたは非常に弱い場合、ラインはショートしています (おそらくひどいこすれ、圧迫またはステープルの刺穴が原因)。サウンド・レベルが通常どおりであれば、ワイヤはオープン回路です (おそらくワイヤ切断または接続抜け)。テスト用スピーカーを使い、ラインを移動し、各接続/接合部をテストして問題箇所を特定し、問題を解決します。また、極性が正しいかも確認してください。
2 低周波数特性が不十分	WITH SUB メニュー・クロスオーバー周波数がオンになっている	このシステムでサブウーファーを使用しない場合は、OFF 位置を選択してください。詳細は「LCD DSP コントロール」を参照してください。
3. 断続的にパチパチというノイズやひずみ雑音がある。	接続不良	アンプとスピーカーのすべての接続をチェックし、ケーブルに汚れがなくしっかり接続されていることを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、アンプまたは配線に問題があります。上記の症状 1 を参照してください。
4. 絶えずブーという音、シューッという音、ブーンというノイズが鳴っている。	音源またはその他の電子機器の不具合	ノイズがあり入力している演奏曲目が鳴っていない場合、おそらく電子機器の信号チェーンに原因があります。必要に応じて各コンポーネントを調べ、問題を特定してください。
	システムのグラウンドが不適切またはグラウンド・ループが発生している	必要に応じてシステム･グラウンドをチェックし、修正してください。
	ゲイン構造が正しくない	音源のレベル・コントロールが適切に構成されていることを確認してください。マイクロホン･ケーブルが MIC IN に接続されているか、ライン・レベル・ケーブルが LINE IN に接続されているか確認してください。
5. MIC IN に接続したマイクの音が出ない。	ファンタム電源が必要なコンデンサマイクを使用している	ファンタム電源が必要ないダイナミック・マイクを使用してください。ファンタム電源が必要なマイクを使用する場合は、外部ファンタム電源が必要です。
	入力ゲインつまみが MIC 位置になっていない	入力ゲインつまみのレベルをゆっくり上げて、マイクのプリアンプを作動させてください。
6. 音がひずみ、フロント LED は OFF、LCD 画面の LIMIT は ON になっている。	入力レベルが高すぎる	MASTER レベルつまみまたはスピーカーのレベルつまみを下げ、限度を超えないようにしてください。
	ゲイン構造が正しくない、またはソース入力 (ミキシング･コンソール /プリアンプ) がオーバードライブしている	LCD 画面の VU メーター・インディケータを調べ、ソースのレベル・コントロールが適切に構成されているか確認してください。VU メーターの表示バーがすべて点灯しているまたはシステムが LIMIT を示している場合は、入力またはソース・レベルが高すぎます。詳細は 6 を参照してください。
7. 入力レベルが増幅されたとき、ハウリングが起こる。	ゲイン構造が正しくない	ミキシング・コンソールまたは入力ソースでマイク・レベルを下げてください。マイクを直接スピーカーに接続した場合は、スピーカーの MIC LEVEL を下げてください。マイクを音源の近くに置くとフィードバック前のゲインが増加します。
	MODE が MUSIC または CLUB に設定されている	MODE を LIVE または SPEECH に変更してください。詳細は LCD DSP コントロールを参照してください。
	マイク位置がスピーカー前面に近すぎる	可能な限り、スピーカーがマイクより前にくるようにセットアップしてください。スピーカーをモニター位置で使う場合は、スピーカーをマイク背面に向けてください。
上記の対応策を講じても問題を解決できない場合は、最寄りのエレクトロボイス販売代理店にお問い合わせください。		

●お問い合わせ先

ボッシュセキュリティシステムズ株式会社

〒100-0014
東京都千代田区永田町 2-13-1 ボッシュビル赤坂 9F
Tel. 03-5485-4427　Fax. 03-3507-4422
www.boschsecurity-jp.net/Pro_Audio/
sales@boschsecurity-jp.net

©2015 Bosch Security Systems, Inc. All rights reserved. 記載された社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。記載の内容は予告なく変更されることがあります。記載の内容は、2015 年 1 月現在のものです。

B201501ZLX_Manual